

令和6年度 第2回上水道審議会

令和6年6月12日

午後7時から

野田川わーくぱる 第2会議室

メーター口径別 年間調定件数及び年間調定金額

(件：円)

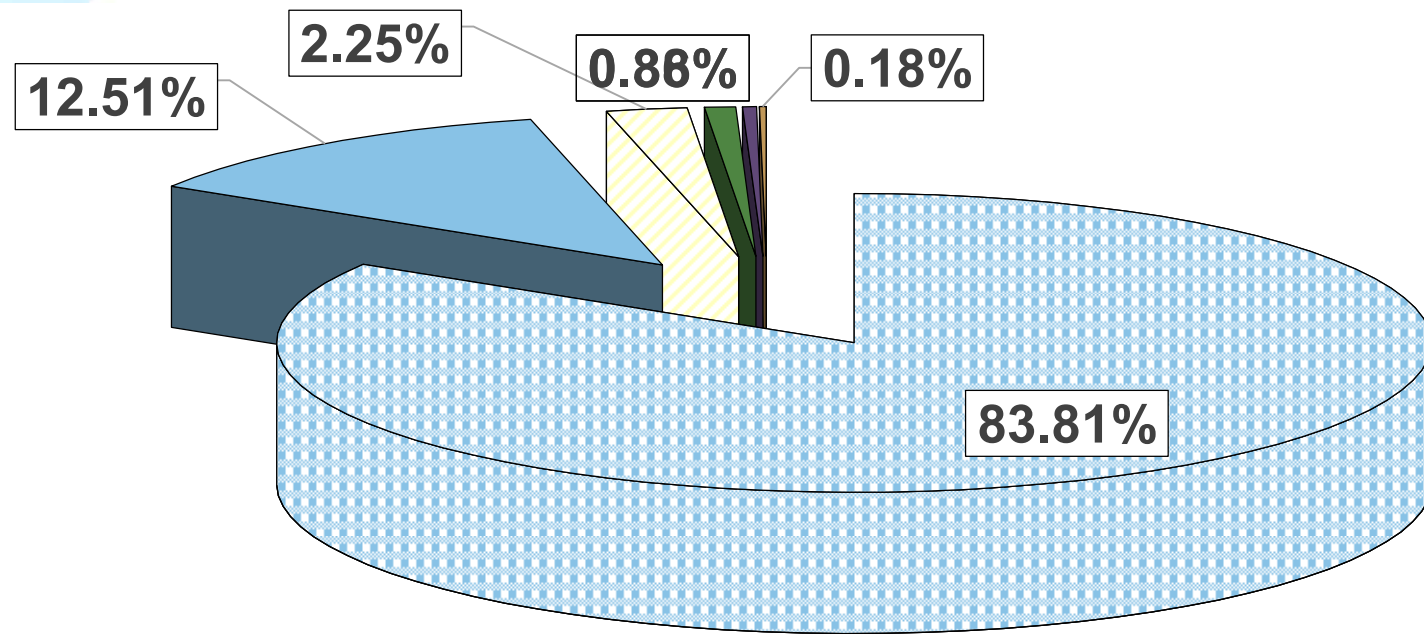
口 径	13ミリ		20ミリ		25ミリ		40ミリ		50ミリ		75ミリ		合 計	
水 量	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
～8m ³	31,598	49,463,608	4,825	7,781,565	1,007	1,632,116	250	442,327	76	139,308	33	95,040	37,789	59,553,964
～10m ³	5,983	10,056,032	944	1,636,684	91	157,794	21	39,690	4	9,198	7	20,930	7,050	11,920,328
～20m ³	30,165	79,979,549	4,220	11,254,108	515	1,395,811	100	274,401	28	80,251	5	18,159	35,033	93,002,279
～30m ³	18,383	80,262,109	2,507	11,037,689	299	1,329,276	73	334,311	35	165,952	4	23,442	21,301	93,152,779
～50m ³	8,852	59,835,121	1,364	9,512,879	329	2,441,961	79	569,320	47	345,891	9	83,202	10,680	72,788,374
～100m ³	1,121	12,850,349	401	5,407,265	248	3,212,875	173	2,555,411	46	616,750	54	869,605	2,043	25,512,255
100m ³ ～	65	2,057,847	98	3,483,098	97	4,487,839	292	20,187,323	201	19,453,479	92	31,034,204	845	80,703,790
	96,167	294,504,615	14,359	50,113,288	2,586	14,657,672	988	24,402,783	437	20,810,829	204	32,144,582	114,741	436,633,769

※調定・・・当該年度における請求件数及び請求額

※量水器口径別の月間最大使用量の目安は、φ13 100m³、φ20 170m³、φ25 260m³、φ40 420m³、φ50 700m³、φ50（たて型） 2,600m³、φ75 4,100m³とされています。

※量水器口径がφ40ミリ以上の使用者のうち、φ40ミリで約70%、φ50ミリで約54%、φ75ミリで約55%が1月あたり100m³以下の使用水量となっています。（φ13ミリ最大使用水量の目安以下）

口径別調停件数



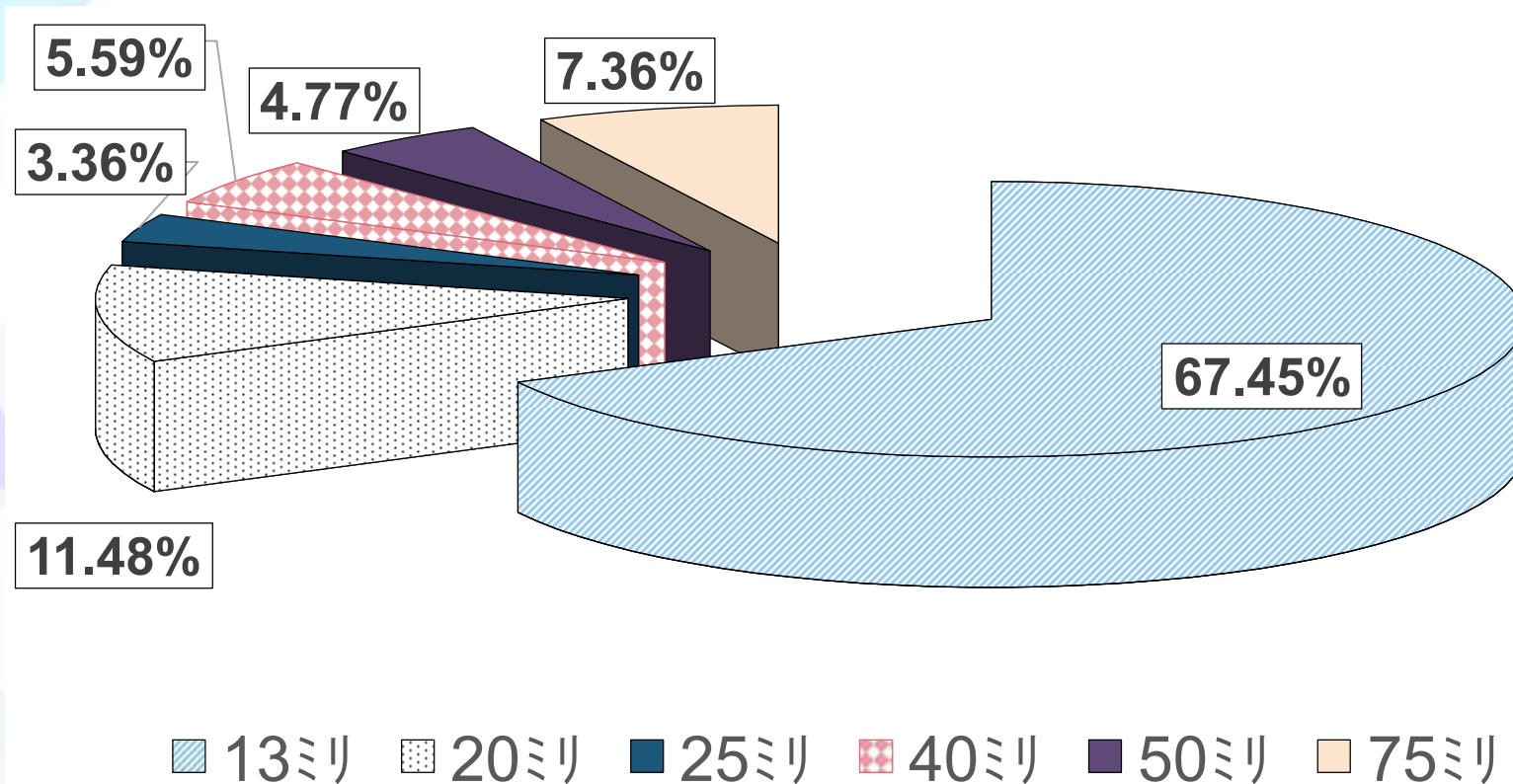
■ 13ミリ ■ 20ミリ ■ 25ミリ ■ 40ミリ ■ 50ミリ ■ 75ミリ

口径別の調停件数は、φ13、φ20で全体の約96%を占めています。

φ40以上の割合は、約1.4%です。

13ミリ	20ミリ	25ミリ	40ミリ	50ミリ	75ミリ
83.81%	12.51%	2.25%	0.86%	0.38%	0.18%

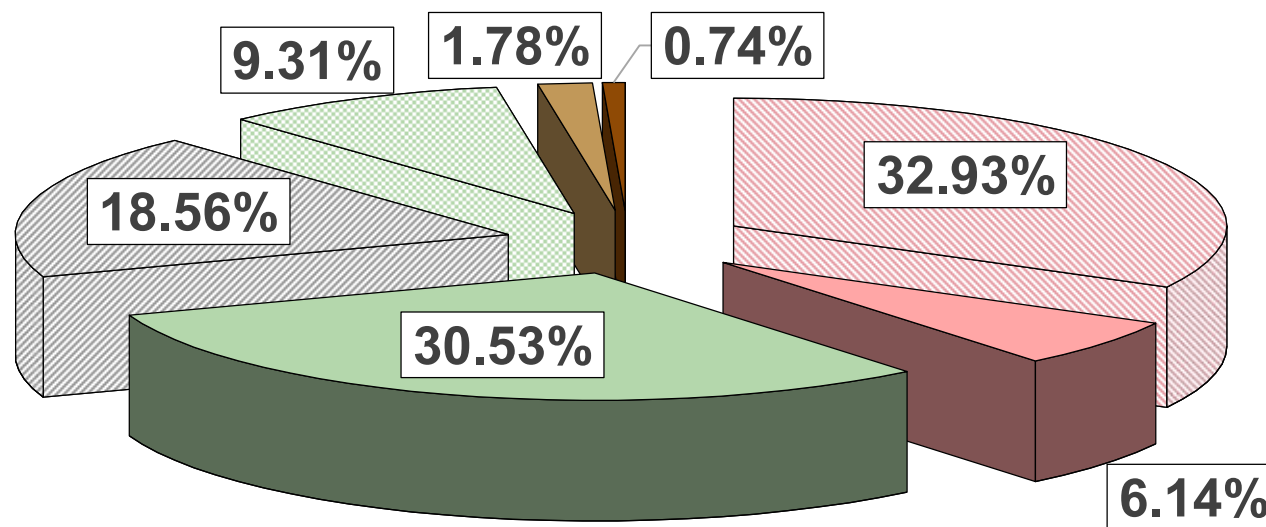
口径別調定額



調定金額では、φ13・φ20の割合は、約79%です。また、φ40以上の割合は、約18%となります。

13ミリ	20ミリ	25ミリ	40ミリ	50ミリ	75ミリ
67.45%	11.48%	3.36%	5.59%	4.77%	7.36%

水量別調停件数



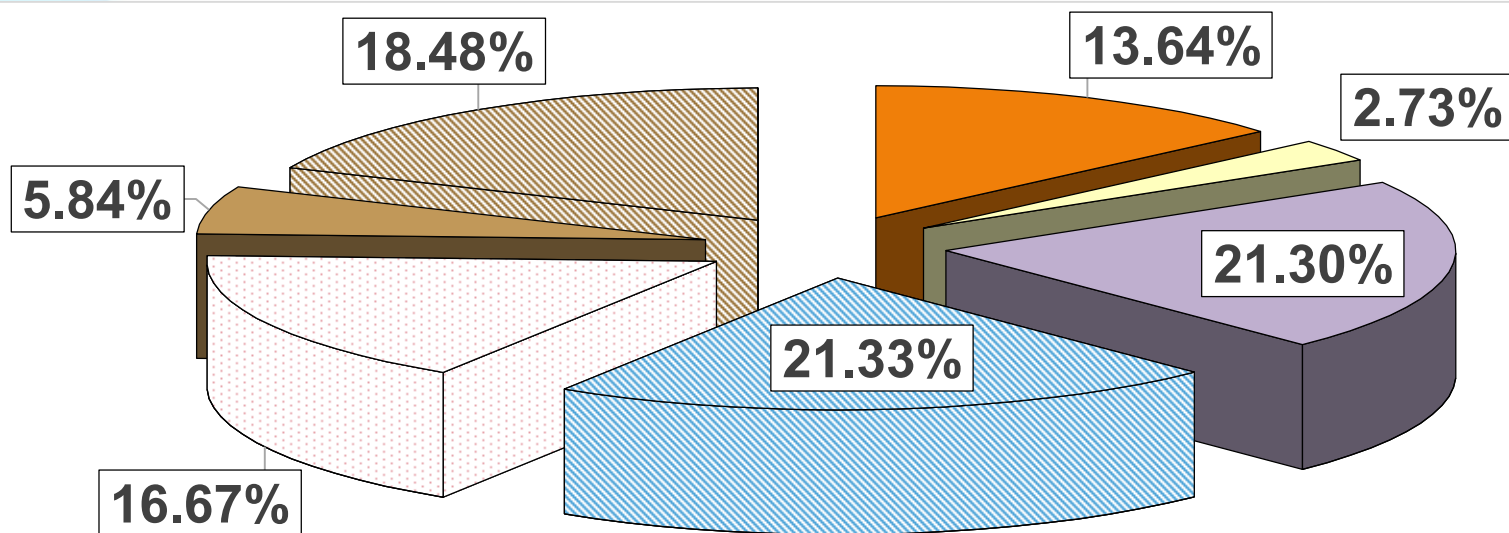
■ ～8m³ ■ ～10m³ ■ ～20m³ ■ ～30m³ ■ ～50m³
■ ～100m³ ■ 100m³～

水量別の件数では、基本水量（8 m³）までが約33%となっています。

20 m³までが約70%となっており、100 m³以上は約0.7%です。

～8m ³	～10m ³	～20m ³	～30m ³	～50m ³	～100m ³	100m ³ ～
32.93%	6.14%	30.53%	18.56%	9.31%	1.78%	0.74%

水量別調停額



■ ~8m³ ■ ~10m³ ■ ~20m³ ■ ~30m³ ■ ~50m³
■ ~100m³ ■ 100m³~

水量別の調定金額では、基本水量（8 m³）までが約 14% となっています。
 20 m³までが約 38% となっており、100 m³以上は約 18% です。

~8m ³	~10m ³	~20m ³	~30m ³	~50m ³	~100m ³	100m ³ ~
13.64%	2.73%	21.30%	21.33%	16.67%	5.84%	18.48%

経営の効率性

1) 水道事業

◇料金回収率

供給単価と給水原価の関係を表すもので、100%を割り込むと、給水に必要な費用が水道料金以外の他の収入で賄われていることを表しています。

◇供給単価

有収水量1 m³あたりどれくらいの収益が得ているかを示す。

◇給水原価

有収水量1 m³あたりどれくらいの費用がかかっているかを表す。

	H30	R01	R02	R03	R04
料金回収率 (%)	66.45	67.04	67.58	70.05	59.67
〃 (類団平均)	98.66	98.64	94.78	97.59	92.17
供給単価 (円)	181.45	181.64	171.17	182.01	158.98
給水原価 (円)	273.06	270.95	253.3	259.85	263.05

※R2/R4は、基本料金減免の有り

◆類似団体の区分は、総務省の基準による。

経営の効率性2

2) 下水道事業

◇経費回収率

汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。

経費回収率が著しく低い団体においては、使用料設定上の問題点があるとされ、原因を究明する必要がある。

◇使用料単価

有収水量 1 m³あたりの使用料収入。使用料の水準を示す。

1 m³あたりどれくらいの収益が得ているかを示す。

◇汚水処理原価

有収水量 1 m³あたり汚水処理費を示す。汚水処理費は、維持管理費と資本費分けられる。

経費回収率	H30	R01	R02	R03	R04
公共下水道 (%)	74.24	67.26	69.1	66.4	66.28
(類団平均)	82.88	81.88	79.77	79.63	76.78
特環公共下水道 (%)	72.45	66.71	71.56	70.1	66.46
(類団平均)	72.26	71.84	73.36	72.6	69.43
農業集落排水 (%)	24.54	24.75	24.82	22.53	22.01
(類団平均)	57.77	57.31	57.08	56.26	52.94

◆類似団体の区分は、総務省の基準による。

経営の効率性3

3) 有収水量の推移

◇有収水量

水道料金・下水道使用料を計算する根拠となる水量。使用水量。

有収水量推移（水道）

	H30	R01	R02	R03	R04	R05
当該値（千 m^3 ）	2,355	2,308	2,285	2,264	2,175	2,153
対前年比	96.08%	98.00%	99.00%	99.08%	96.07%	98.99%

※H30～R5の平均変動率は、 $\Delta 1.72\%$ ／年

有収水量推移（下水道）

	H30	R01	R02	R03	R04
当該値（千 m^3 ）	1,893	1,842	1,867	1,854	1,834
平均値（類似団体）	—	97.31%	101.36%	99.30%	98.92%

※H30～R4の平均変動率は、 $\Delta 0.78\%$ ／年



MEMO